

る存在▼「ことほど左様に
本学は、植生に富む。近時
日本工業大学三十三年の歩
みを振り返っていたら、二
十二年前の昭和五十三年八
月に〈学園の緑化運動〉を
開始。翌年三月のキャンペ
ーン終了時まで、三千八百
四十六本もの木々が植ええ
られた、と記録されている▼
いま、キャンパスの随所に
表示の「Clean & Green
Campus」なる標語は、そ
のとき以来のもの。思うに
「環境」に関して本学の取
組みがいかにか早かったか
その事実がはつきり証す
昨年の十月、[ISO 14001]
認証取得に向けて始動した
が、その点を銘記して、さ
らなる心地よいオアシスづ
くりに取り組みたいものだ
▼よく「物心画面」という
が、物的環境が整っても心
組みが伴わなければ、真
に良質の環境は生まれない
そこで一つの提案だが、今
年は手始めに、みんなの気
持の和む言葉のオアシスと
して、「おはよう」「ありが
とう」「失礼します」「すみ
ません」等の声が飛び交う
慣わしを推進したら如何な
ものか▼なに、そんなこと
を！、と一笑に付す向きも
あろう。けれど、その小さ
なことを実行するだけで
ぱっと明るく活力ある学園
環境が出来るに相違ない。

織物技術の歴史の粹と
民族学的視点をからめて関心呼ぶ

今回の特別展では、織機と織物に着目して、特に19世紀初期に考案されたジャカード織機の紋様を記録する紋紙は、後にパンチカード・システムに発展して現在のコンピュータの入力装置の基になったとされているほど、技術史的に非常に重要な事柄とされておりそれらを考案し、作り出した技術を中心に、その歴史・実物などを紹介・展示した。

「技術」の促進が国是となり
ましたが、その技術をも
のづくりに有効活用し、
ぜひ新世紀に合った技術
創造に、果敢に挑戦して
下さい。

さらに、第四のポイン
トは、より一層の《産学
協同の推進》です。ご存
じのように、工学という
学問は、生産現場との絆

築しなければなりません。そして伝統を積み重ねてゆくためには、時流に即した絶えざる「変革」への挑戦も不可欠です。

皆さんのご健闘を、切
にお願い致します。

写真は、軸方向ステッ
振動ドリルユニットおよび
円周方向ステッ振動ドリ
ル加工ユニットの二開発品
である。いずれもCNC小
型自動旋盤の刃物台に取り
付けて使用することが可能
である。その機構は、図に
示したように、偏心カムが
工作機械からの駆動源によ
って回転し、その回転カム
が振動主軸の後方を打撃す
ることによりドリルがステ
ッ振動し、回転している
工作物にドリルが送り込ま
れ、穴あけがなされるとい
うものである。

現在、さらなる商品化を
目指して共同作業が続けら
れている。

募集学科	方式・入試内容	試験科目および範囲
機 械 工 学 科	A 方 式 普 通 科 生 向 け の 問 題	数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A（「数と式」のみ） [100点]
電 気 電 子 工 学 科		理科：物理ⅠB（「電気と電子」を除く） [100点]
建 築 学 科		英語：英語Ⅰ、英語Ⅱ、リーディング [100点]
シ ス テ ム 工 学 科		※上記のうちから任意の2科目選択。
情 報 工 学 科	B 方 式 工 業 科 生 向 け の 問 題	数学：数学Ⅰ [100点] 専門：志望学科の専門関連科目から出題 [200点] ※「専門」の試験は口頭試問・面接

☎345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1 日本工業大学教務課入試験係 ☎0480-34-4111(代)

●独創性を育む!!

就職戦線2000
回顧

企業の採用意識変化を 厳しく見据えた活動を

(就職課)

景気が少しく持ち上がりの気配をみせているとは言え、依然厳しい就職状況下に直面していることに、変わりはない。とくに成果の獲得に競争を強いられる企業にとつては、即座にそれに結びつく人材獲得のために経験者の中途採用などの方針を強めている。かような状況を見据えて、学生達は、真の実力・自己表現力を、磨いてほしい。

平成十二年度の就職戦線が終結を迎えないうちに、毎年恒例となっている回想記を書く季節になった。

今回は、詳細な数字の羅列をなるべく省き、企業の人事体制の変化、採用方法の転換に焦点を当て、そのような変化に本学学生が如何に対応したかを述べることに、就職支援体制の課題についても若干触れてみたい。

企業のまなざしの変化

経済の構造的変化により、企業は規模の大小を問わず大競争時代に突入した。こうした中で、企業は中

核となる新卒生を抜き組の採用人数を減らす反面、彼らに対しては今まで以上に雇用保障を重視し、教育訓練を行っている。こうした「コア」人材の周りに、新規事業分野や情報化など新システムに精通した専門要員を中途採用や契約社員、あるいはアウトソーシングなどで固めていくという重層的、モザイク的な人事体制を探るところが増え始めた。そして、「コア」人材を確保するための手法を九〇年代の厳選主義採用からコンピテンシー採用へと転換する企業が増えてきた。

コンピテンシーとは「組織の中で求められる成果を継続して生み出すもの」と期待していた。経済が回復する兆しの中で迎えた就職戦線は、学生たちにとって追い風が吹くものとの期待していた。

機械・電気電子工学科の備前

機械工学科七九%で対前年比一%増、電気電子工学科八四%対前年比二%増、建築学科六二%対前年比七%増、システム工学科七二%対前年比四%減、情報工学科七〇%対前年比九%増となっている。

しかし、企業の人事体制の見直しによる、採用方法の変化は学生たちにとって逆風となり、昨年同様に厳しい就職戦線であったように思えてならない。

ネット就職活動の問題点

予想に反したのは情報工学科で、内定を得られなかった原因は、ネット就職の問題点が露呈したものである。

ネットに依存したために、就職課の求人票の中小優良企業を見落とすことと、安易なエントリーが挙げられる。不況下で唯一業績を伸ばしている業界だけに悔やまれてならない。

先月の大学通信十一月号では、三年生用就職に臨む心がまえについて要点を指摘した。しかし、これは採用試験用の対処方法にすぎないのである。

このままの状態を続けていけば、学生間の就職意識の差はさらに拡大し、それが原因で新卒者の早期離職、無業者の増加を促進するであろう。

現在の就職支援プログラムを効果的なものにするためには、低学年からのキャリア指導が不可欠で、全学的な支援体制の早急な確立が望まれる。

最後に未内定の諸君は、表に掲げた新規・成長分野などを参考に最後まで勇気を持って就職活動を継続してほしい。

八九年では七・八年であった女性社員の平均勤続年数は九九年には九・八年まで伸びている。この数字は新卒女子学生の就職が厳しいことを証明している。もう少し柔軟な姿勢で活動をしていけば違った数字になったかも知れない。

唯一減少したシステム工学科の学生たちは、自らの得意分野に対する絞り込みが十分でなかったような気がする。その結果、業種の絞り込みができず現在まで経過してしまっただけではないだろうか。

◎学生自治会執行委員長就任あいさつ

他大学から目標とされる学生自治会を

機械工学科三年 佐藤 人詩



明けましておめでとうございませう。
私がこの日本工業大学に入学して早三年という月日が経とうとしています。

が、大学に来て最初にできた友達に誘われて、中央執行委員会に入りまして。何の知識も無いまま委員会に入ったので、最初は不安でしたが、良き先輩や友人に恵まれ、辛く苦しいと感じる時も励まされながらやり抜いてくることが出来ました。その中で、様々な体験をして充実した日々を送ってきた事が、今の自分に繋がっていると感じています。

積極的に取り組み、学生の意見・要望をできるだけ多く実現出来るようにしようと思っています。

最後に、二十世紀最初という記念すべき年に活動できる事を光榮に思い、他大学から目標とされる素晴らしい学生自治会を目指して、悔いの無いよう精一杯やっていきますのでご協力をお願い致します。

また、周囲の大学との交流会を主催し、各大学の良い所を取り入れ、学生自治会に新しい風を吹かせたいと思っています。更に、現在、学校側で動き出しているISO（環境マネジメントシステム）の認証取得に向けて、学生自治会としても協力していきたいながら、環境に関する知識を高められれば、と考えています。

STUDENT FACE 2001

「私は昭和三十六年に県内の三郷市で『ミサト化学研究所』を創業して以来、いろいろな事を手がけて来ましたが、この十年で修士課程三・六倍、博士課程八・五倍と急増している。その背景には「知的社会の到来」「飛躍的な科学技術の進展」があるというのが大方の識者の見方だ。そんな時流のなか、昨年九月、電気工学専攻の博士課程に、ユニークな人物が秋季入学された。ミサト株式会社資本金一億七千五百万円代表取締役社長の清川晋さん六四歳がその人だが、経営マインドの奥深くに、いまだ少年時代に育まれた旺盛な「好奇心」や「感性」を垣間見る、魅力的なエンジニア社長である。



清川 晋さん
大学院電気工学専攻 博士課程

開発体験の 学問的体系化を目指す

「私は子どもの頃、近所の川の魚を一網打尽にするほどの悪ガキでしてね。でも、その時、魚たちが日溜まりで気持ちよさそうにしているのを見たことが開発につながる。従って、何事もまず現場での体験や観察が大切のように思います。」
清川さんの、優れた開発の足跡が体系化された博士論文が待たれる。

「幸手市ひばりヶ丘工業団地の一画、『快適な温熱環境を創造する』をキャッチフレーズに、電気床暖房や蓄熱式床暖房などを主力

が、一言でいえば、それらを学問的に体系化してみたというのが入学の理由。で、日工大を選んだのは、なすの、という。

が、そのアルバイト現場を通じて実学を踏襲される。市から日工大に近い幸手市に移設した。

この間、平成十年には「面状発熱体の開発」で科学

（編）

第1期生のホームカミングデー 温もりに満ちた語らいで終始

「学生達よ、恵まれた環境を生かせ!!」



大川理事長(右)と在りし日の思い出を...

銀杏の黄葉が美しい好天
下の十一月十八日、第一期
卒業生を迎える《第一回
ホームカミングデー》が催
されたが、OB教職員(実
行委員長・大岸文夫)の厚
いもてなしで、たいへん温
もりのある会だった。
参加者は、大学創設時の
機械・電気・建築の三学科
卒業生三十八名および当時
の教職員と現職を合わせて
百名ほど。「十年ひと昔」と
いうが、実に三十年ぶりの
旧交だったせいか、つる
話でもちぎらだつた。
会合は、十時より受付開
始。三々五々集ったOBた
ちは、昼食までのひととき
各自任意に、自分たちが学
んだ時とは比較にならない
ほど充実した諸施設を参観。
また、発展をみたキャンパ
スの光景を、感慨深げにデ
ジカメに収める姿も随所に
垣間見られた。
午後の部、情報工学科で
の講演の第一は、大川理事
長による「創立からの歩み
と二十一世紀の大学」と題
するもの。理事長は、その
冒頭、「何れともあれ皆さん
のお顔をみて、胸が詰まっ
た」と述べられたが、その
懐旧の念は、列席者共通の
ものだったに相違ない。
いま在籍の学生諸君には
想像だにできないが、なに
しろ開学当初の校舎は、現
存の本館のみで、キャンパ
ス周辺は田圃だらけ。むろ
ん道路も無舗装で、この日
OB諸氏が「雨の日の際
苦勞ばなしが「雨天の際の

近事片々

私は平成九年度に
システム工学科を
第十九期生として
卒業しました。今
思えば様々な人々
の出逢いがありま
した。とても熱い
心を持った先生、
探検家の様な野心に溢れ
た先輩や友人達……。
例を挙げるときりが無い
ぐらゐ個性に溢れた面々
でした。そんな個性的な
メンバーだからこそ、発
想も豊かで、ある時はゼ
ミで合宿を行い宙に浮か
ぶ乗り物を作成したり
(それは最後の段階で失敗
に終わる)またある時は
皆で手作り餃子パーティ
ーを開催し、宮代町の
方々をはじめ、留学生と
交流を持つ切っ掛けにな
りました。

先輩だより



心やさしかった 故 小淵総理の思い出

松井 千明
(システム工学科 第19期生)
外務省大臣官房在外公館課勤務

予算要求をする作業を主に
行っており、ミレニアムだつた200
0年の夏は徹夜も度々体験
しました。大蔵省とのかけ
引きのある予算要求の仕事
はスピードを要求され大変
ではありますが、結構面白
く、学生時代の頃は大変な
ノートパソコンを背負い
大学へ通つたものでした。
その当時、実家から遊び
に来る姉や友達とのさし入
れが大変心暖まるものでした。
私が現在社会人となり毎日
大過なく楽しく過ごさせて
頂いているのは、学生時代
よりお世話になった方々の
おかげであり、その御恩を
忘れることなく、また、ど
んな時にも笑顔を絶やさず
明るく、仕事に挑戦して行
きたいと思っております。
新聞やTVのニュースで
は、しばしば大学生の就職
状況が厳しいことが報じら
れております。

私が卒業した頃と比べ
ると、一段と厳しさは増して
いるようです。また雇用機
会均等法が改正されたとい
え、相変わらず女子学生
に対して企業は門戸を閉ざ
しています。
しかし怯まないでくだ
さい。高い志しと自己を信じ
て可能性に挑戦して行けば
道は必ず開けて来るもので
す。今後の皆さんの健康に
期待しています。

電気電子工学科の鈴木 務
教授が運輸大臣賞を受賞
数々の業績で国際的に名
高い鈴木務教授が、昨年十
二月、またまた運輸大臣賞
を受賞された。
受賞理由は、「多年にわた
りレーダーの研究を通じて
電波標識技術の発展に尽力
されるときに海上交通セ
ンターの技術的整備も構築
に努められるなど船舶航行
の安全に寄与され我が国交
通文化の向上に貢献された
というもの」。

先生とのさらなる研究の発
展を、祈念申し上げます。
情報工学科が実験機器を先
端装置に大幅更新!
情報工学科では、昨秋、
情報処理演習室Ⅱ、Ⅲのパ
ソコン百六十台を、従前の
ブラウン管ディスプレイ型
から、国内の大学ではトッ
プレベルの機能をもつ液晶
型機器に入れ替えた。
理由は、第一に環境対応
の見地から、省電力・省熱
を図ったこと。第二に、机
上スペースが広くとれるこ
とによる、学習空間の圧迫
感の解消。当然ながら、こ
の配慮によって、学生たち
の反応も、「テキストや参考
書の使用などは無論、ノー
トも取りやすくなった」と
たいへん好評だ。
なお、同科では、教科に
関する様々な情報を学生に
伝達するeスタイルのサ
ービスを開始、情報工学科
ならではの便宜を図ってい
る。

とまれ、学生たちは、こ
の充実した環境で、大いに
力を養ってほしい。

新任教員プロフィール

◆松野 建一教授 (工業技
術博物館)
昭和十三年十月三十一日生
まれ。昭和四十四年三月東
大工学部卒業。工学博士。専
攻「材料工学」。現在、工
学技術博物館長。工学博士
課程(精密機械工学専攻)修
了。財団法人「財団法人科学
技術センター」所長歴任。

◆伊藤 庸一教授 (建築学
科) 出張先「韓国」10/13
10/16 目的「環境共生集
住空間に関する講演・打ち
合わせ」
◆正造寺勉助教授(システム
工学科) 出張先「カナダ」
10/14 10/22 目的「
ZPIDに於ける研究発表」

◆北久保茂講師(システム工
学科) 出張先「カナダ」10/
14 10/22 目的「ZPID
に於ける研究発表」
◆佐々木哲夫教授(機械工学
科) 出張先「台湾」10/19
10/23 目的「南台科技大
学での金型設計と製作に関
する講義」

◆古閑伸裕助教授(機械工学
科) 出張先「米国」10/30/
11/6 目的「ISAT2000
に於ける研究発表」
◆宮澤肇助教授(機械工学セ
ンター) 出張先「台湾」11/
11 11/16 目的「南台科
技大学国際シンポジウムでの
講演」

◆石崎克也助教授(共通
系) 出張先「タイ」11/1
11/10 目的「中国科学
院においてYue Wang教授
と所長との共同研究及び同
氏主催のセミナーでの講演」
◆正造寺勉助教授(システム
工学科) 出張先「米国」11/
4 11/10 目的「Inform
Annual Conference・San
Antonio Fall 2000」参加

◆橋本英哉助教授(共通
系) 出張先「韓国」11/6
11/10 目的「Korea Japan
Joint Workshop in Math」参
加発表
◆星野坦之教授(システム工
学科) 出張先「中国」11/9
11/14 目的「天津複印
技術研究所での技術指導」
◆神野健哉講師(電気電子工
学科) 出張先「韓国」11/14
11/18 目的「Tth
International Conference on
Neural Information
Processing」論文発表
◆廣瀬治男教授(電気電子工
学科) 出張先「中国」11/17
11/19 目的「中国進出
中小企業の視察調査」
◆鈴木敏正教授(システム工
学科) 出張先「中国」11/26
12/2 目的「国際協力事
業団からの依頼によるタイ国
でのセミナー」
◆梅崎榮作教授(機械工学
科) 出張先「シンガポール」
11/28 12/2 目的「第
2回実験力学国際会議での
論文発表」

システム工学専攻博士課程の 金鐘得君らが論文受賞!!



金 鐘得君

君と三宅正二郎教授及び渡
部修一助教授に、日本機械
学会生産加工・工作機械部
門より優秀講演論文賞が授
与された。これは99年度の
多くの講演論文の中から選
ばれての受賞である。講演
論文のテーマは「メカノケ
ミカル作用によるナノ隆起

加工」で、原子間力顕微鏡
(AFM)を用いシリコン上
に原子スケールの微細な隆
起加工を実現したものであ
る。受賞理由は、「微細加工
の一つの実現方法として
メカノケミカル作用による
表面物質の化学変化を利用
した形状生成は、加工点を
微細に制御できるなど優れ
た点があり、将来が期待で
きる」ことによる。

行政の分野でも中央省
庁の再編や地方分権の推
進など、新しい流れが始
まっています。宮代町に
関しては、

おきまして、このほど
第三次宮代町総合計画を
策定し、総合的な保健・
医療・福祉体制の確立な
ど暮らしに直結した政策
を打ち出しています。これ
までも増して様々な分野
で連携を深めていただく
ようお願いするとともに、
今後ともまちづくりの一
翼を担う大きな存在とし
てご期待申し上げまして、
年頭のご挨拶と致します。
(宮代町役場・渋谷)

TOWN & CAMPUS 宮代町からの メッセージ

しかし、まちづくりは
行政だけでできるもので
はありません。住民の
方々をはじめ、地域の
協力があるからこそのも
です。宮代町といたしま
しては「大学のある町」
として日本工業大学と
ともに発展していきたいと
考えています。これまで
にも増して様々な分野
で連携を深めていただく
ようお願いするとともに、
今後ともまちづくりの一
翼を担う大きな存在とし
てご期待申し上げまして、
年頭のご挨拶と致します。
(宮代町役場・渋谷)

編集後記

新年明けまして
おめでとうございます。
いもしなかった二
十一世紀。二十世
紀初頭にIT革命
といわれる高度情
報化社会の到来を
予想出来た人は極めて少
派であつたでしょう。S
Fや漫画の世界でした。こ
れからの百年間にかなる
ことが変化進歩するの
興味がいそいそとある
一方で、人類の歴史を考
えるとき、「そんなに変わ
らない」というのも確かな
うに思えます。二十一世
紀に向けての抱負は如何
ですか。そして二十世紀
はどうでしたか。

本年六月のISO140
01認証取得に向け、全
学の協力を得て推進して
いるところです。すこし
の活動を通じて、環境
の向上が図られていく
ことが目的です。学生
諸君の自主的な取り組み
、そして実際に一人
でも多くの学生参加を
切望するところです。
▼本年も日本工業大学
通信ともどもよろしくお願い
します。(F)